

令和元年度 第1回 吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討会議  
開催結果概要

<b>1 日時・場所</b>	
令和元年8月29日(木) 10:00~11:35 ・ 中層棟4階 第3委員会室	
<b>2 出席者</b>	
<p>【出席委員】 北村委員長、寺本委員、高木委員、谷口委員、松井委員、脇阪委員、松原委員、池口委員</p> <p>【欠席委員】 なし</p> <p>【事務局(企画財政室)】 稲田行政経営部長、今峰室長、吉川参事、東主幹、青柳主査</p> <p>【関係室課】 別紙のとおり</p>	
<b>3 案件内容</b>	
<p>(1) 評価(検証)方法について</p> <p>(2) 評価結果について</p> <p>(3) その他(次期吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略について)</p>	
<b>4 主な質疑・意見等の内容</b>	
<b>【案件(1)、(2)】</b>	
北村委員長	<p>① 防災力の向上について、地震が発生すれば電力が停止し、復旧に期間を要するので、その間の電力を確保する取組が重要ではないか。</p> <p>また、吹田市はマンションが多く、エレベーター内に閉じ込められた場合の対応が必要となるので、例えば、市内にエレベーターが何基あるかを把握し、そのうち非常用の備蓄品がどの程度配備されているのかなど、KPIを含めて検討してはどうか。</p>
寺本委員	<p>① 新生児訪問の実施率については、本総合戦略の策定時点から少しずつ上昇しているが、目標値にはほど遠いため、取組の工夫が必要ではないか。</p> <p>② 国保特定健診の受診率については、策定時点から毎年減少しているが、市民への受診勧奨はどのように行っており、目標達成に向けて今後どのように取り組んでいくのか。</p>
高木委員	<p>① 経年変化が把握でき、比較しやすいような資料の工夫が必要である。また、事業効果について、地域性が分析できるような資料を作成し、見える評価の仕方をすべきである。</p> <p>② B評価としているところでも、今後の取組予定が昨年と同じであり、それではA評価につながっていかない。さらに、A評価のところでも次の取組を考えなければ、これ以上の発展はない。</p> <p>③ 創業支援は、誰かに何かを生み出してもらうために市が支援することと考えれば、細々とではなく、もっと大きな気持ちで真摯に取り組んでいただきたい。</p>

高木委員	④ 仕事をどのように生み出していくのかを考えていただくことは、中小企業にとっていいまちになるのではないかと。
谷口委員	① 事業承継への支援については、行政・金融機関等が一体となって取り組むべき課題だと思うので、まずは行政から主体的に情報発信していただきたい。
松井委員	① ここ数年2,000人程度の転入増となっており、子育て世代も増加していると予想される。より深まった議論をするため、子育て世帯数や出生数などの数値も資料に追加していただきたい。
池口委員	① K P I の数値が下がっているものの、取組内容等を総合的に判断し、A評価にしているケースが幾つか見られるが、真摯に数値を受け止めて評価し、次に向けて改善していく方が、具体的に取組が進むのではないかと。 ② 現状、企業においては人手不足が進み、優秀な人材の確保に苦慮している。これまでは総合職として採用し、全国転勤が当たり前だったが、現在ではエリア職に変更する従業員が増えており、地元で根付いて働いていくという取組をしなければならない状況である。また、大学生だけでなく、高校生にも目を向けていかなければならないと考えており、これらの取組を行政と企業が一緒になって進めてほしい。
<b>【案件（3）】</b>	
北村委員長	① 数値の解釈に思いが入っていて幅があるので、判断基準や評価の仕方をもう少し厳密にした方がよい。 ② 資料の見せ方として、時系列で見せるのか、近隣自治体と比較して相対的に見せるのかなど、現状を分かりやすく示していただきたい。 また、目標と課題を初めに示し、現状、取組、残された課題を示していくと理解しやすいと思う。 ③ K P I の設定には様々な工夫が必要だと思う。把握しておくことと目標として掲げることとは違うので、分けて考えていただきたい。 また、まちの魅力を向上させるには、宣伝することだけでなく、例えば、まちに花を増やすなど地道な作業も必要だと思うので、丁寧にK P I を設定する必要がある。 ④ 各委員の意見をまとめると、数値の解釈やK P I の設定、そもそも目標や課題を数値に置き換えて具体的な形で示されているのかが分からず、評価の仕方が分からないということだと思うので、第2期の総合戦略では改善していただければと思う。
寺本委員	① K P I の設定に過不足があると思うので、どの取組にK P I を設け、どういう目標数値にするのかについては、第1期の総合戦略を踏まえて設定されたい。
谷口委員	① 第2期の総合戦略の策定に向けて、課題はしっかりと資料に盛り込むことが必要だと思う。参考資料1では、「進捗、成果、課題等」となっているにもかかわらず、課題を書いているところはほとんどない。市の方から、今、ここが弱点で、この分野に民間企業の力を貸してほしいというメッセージが盛り込まれることで、具体的な議論が始まっていくと思う。それをP D C Aで回していき、B評価がA評価に上がっていく、そういうプロセスが見える形にならないと説得力がないのではないかと。それを意識してほしい。

松井委員	① 健康寿命である80歳ぐらいまでの多くの方が働いており、その分地域を支える高齢者が減少しているのではないか。例えば、民生・児童委員の平均年齢が上がり、人数が減少していると思うので、そういう状況も含めた視点を加えてほしい。
------	---

吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討会議  
【関係室課一覧】

部局名	室課名
総務部	危機管理室
都市魅力部	地域経済振興室 シティプロモーション推進室 文化スポーツ推進室
児童部	のびのび子育てプラザ 保育幼稚園室
福祉部	高齢福祉室
健康医療部	保健センター 北大阪健康医療都市推進室
土木部	道路室
学校教育部	指導室
地域教育部	中央図書館